

PROGRESS

～前進～

毎日の様子更新中！泉ヶ丘東中HPはこちらから⇒

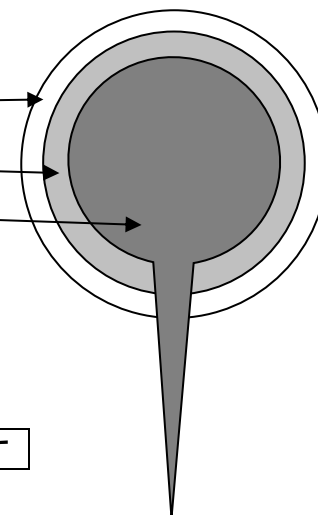


「人の話を
しっかり聴く」
<6月・7月>

誰もが安心して過ごすことのできる 泉ヶ丘東中学校であり続けるために

突然ですが、人間の脳は、右の図のような3つの層で成り立っています。

- ① 一番外側の白い部分は、『**ヒトの脳**』といって、勉強したり、将来のことを考えたり、言葉を話したり、人間にしかない部分です。
- ② 一つ内側の薄い灰色の部分は、『**ネコの脳**』といって、喜んだり、悲しんだり、笑ったり、気持ちを考える、気持ちをコントロールする脳です。
- ③ そして、一番内側の濃い灰色の部分は、『**ヘビの脳**』といって、命を支える所です。息をしたり、大小便をしたり、物を食べたりするための大切な脳です。



人は、いじめや嫌がらせ、暴力を受けると「ヘビの脳」が弱ります。「ちょっとくらい・・・」「おもしろ半分で・・・」という軽い気持ちでの行為が、相手の「ヘビの脳」を傷つけていることになります。「ヘビの脳」は、命を支えるところ・・・ということは、すなわち、相手の生きる気力をうばっていることになるのです。

(1)無視する (2)からかう (3)おどす (4)暴力をふるう (5)バカにする (6)嫌がらせをする(言う) (7)いじわるをする(言う) (8)仲間からはずす

上にあげたものは、ほんの一例です。相手が「いやだ」と思う行為は、すべてが「いじめ」といっても言い過ぎではありません。

これらのことが、一方的・継続的に続けば、どうなるでしょうか。一度や二度の攻撃ならば、人間は「ヒトの脳」で跳ね返すことができます。一日や二日のことなら、「ネコの脳」で食い止めることができます。しかし、継続的に続くことにより、その攻撃は「ヘビの脳」に達してしまいます。「ヘビの脳」は、命を支える場所・・・そこが攻撃されるということは・・・だから、「いじめ」は人の命をうばってしまうことにもつながる、絶対に許すことのできない、ひきょうな行為なのです。

クラスを見渡して下さい。周りを見渡して下さい。誰かがいやな事をされている場面・・・ないですか？いやな言葉、聞こえてきませんか？体のことや見た目・・・人が気にしていることを平気で言う人、いませんか？

各学年とも、大きな行事が終わりました。

先日の全校集会で話をした、【集団生活のルールは「80%の楽しさと20%の我慢」・・・実践してくれましたか？

それと並行して、各クラスで「教育相談」が行われています。学年が一つ上がって2ヶ月がたち、楽しいこと、頑張っていること、悩んでいることなどなど・・・担任の先生とざっくばらんに話す機会です。ぜひ、大切な時間にしてもらいたいと思います。

**「自分がされて嫌なことは、他の人にもしない」
「自分が言われて嫌なことは、他の人にも言わない」**

1学期もあと1ヶ月というところに来ました。自分の生活・自分の行動を、振り返ってみてください。こんなシンプルなことが、できていないということはないですか？

「おもしろ半分で・・・」「これくらいならいいかと思って・・・」

それは、(嫌なことを) やったり言ったりしている人の都合ですね。

そんなこと、許されるわけがありません。学校は、誰にとっても安心して過ごせる場所であるべきなのです。

東中が、生徒の皆さんにとって「心のよりどころ」「居場所」になるように、先生たちも頑張ります。皆さんも、色々なところで協力をしてください。

2年生 集合の状態が特に素晴らしかったこと

3年生 あいさつの声が響き、みんなで盛り上げようと前向きなオーラが出ていたこと

いいことを書き出せばキリがないですが、宿泊行事に同行させてもらって、一番感じたことです。「日本一の学校」に一步步近づいている、みんなの行動に拍手！

ちょっといい話②